

# 恭賀新年

前福岡商品取引所理事長  
中村光弘

私の好きな一文字  
平成18年掲載分(順不同)

肩書きは掲載時のままです。みなさんの「投書」、大歓迎です。事務局まで郵送でお願います。

真  
落岩 邦俊 (第一商品社長)

風  
田島 弘志 (コムテックス人事部長)

烈  
木原 大輔 (日本ユニコム顧問)

陽  
渡邊 泰夫 (豊商事取締役)

優  
河島 毅 (日本ユニコム副会長)

愛  
小島 悦代 (元全商連総務部長)

真  
安藤 孝輝 (アイメックス業務部長)

照  
望月 優子 (カネツ商事秘書課長)

耀  
岡本 安明 (岡安商事社長)

清  
今井 晃 (カネツ商事執行役員)

心  
太田 清和 (日本ファースト証券専務)

如心  
内山 照夫 (岡地総務人事部長)

## ふりかえって

セントラル商事  
常務 阪村 敏生



商品取引を仕事にして早、40年になるうとして。歩合外務員生活を32年、組織営業8年、良い先輩・良い仲間恵まれ、この歳まで働くことが出来たことに感謝する毎日ですが、先の商取法改正にあたり、今までの営業のやり方が通用しなくなった様な雰囲気があり、非常に残念に思っています。

自分が今一番に感じていることは、常に相場(すなわち)黒板は嘘をつかないということ。ときには理外の理の動きをするのが、常に上下の動きの中で材料があり、自分の思う通り、自分が運ばばいいが、

常にも逆のことも頭に入れ相場に接し、損切りは常に早くすることが顧客のためになり、長く付き合っていることになり、損切りが一番大事ということ。すなわち会社にとつても手数料が頂けて、長く付き合って頂くことが出来る。歩合外務員の時代が長かったので、お客に誠意を持って接することを心掛け、仕事をしましたことが、今の時代に役立っている。

年末、そして新年、毎年反省と抱負(らしきこと)を考える。己の至らぬところの反省しきりである。思慮や経験が行き届かず、いくつになっても未熟者。このような自分を少しでも磨きスキルアップ、常に己の情熱と夢を失わないように心しておきたいものだ。

## いくつになっても自己啓発?

朝日ユニバーサル貿易  
執行役員 川尻 清治



も格差社会にどっぷり浸かって、泳ぎきるのが大変だ！  
今、メタボリックシンドロームなるものが、中高年サラリーマンを襲っている。生活習慣病なる古くて新しい問題でもある。

放っておくと将来、会社を圧迫する健康保険料負担の経費増にも関連するらしい。会社も個人も、心身ともに啓発、啓蒙をし、自身も謙虚と感謝の気持ちを忘れずにいたい。

いまさらではなく、いくつになっても自己啓発！メタボリックなるものに負けないうぞ！

## こころの病

エース交易  
執行役員 河村 相淳



「十五、十六、十七とあたるの人生暗かった」で始まる藤圭子の歌が昔はあった。今の若者には藤圭子といつても知らない人が多いだろう。むしろ宇多田ヒカルの母親といったほうが分かり易いかもしれない。

なぜ、この歌を引き合いにだすかといえ、30代から40代の前半までおよそ15年間、私の人生が暗かったせいだ。「不安神経症」。これが私の病名だった。簡単に言えば「こころの病」だ。

放置して長引いたせいで、これに「うつ」が追加された。体験した人でなければ理解されにくいだろうが、何から何まで不安で怯える毎日が続く。

たえず緊張感がとれず、脈拍は四六時中100を超えている。生きていくだけで苦しいから、死にたいという衝動にかられる。はたからみると正常に見えるだけにタチが悪い。

## 江戸前の海を釣る

USS証券  
執行役員 小林 安夫



年の瀬になると、例年最後を締めくくる納竿が私の定番となっています。江戸前釣景の面影を残す落ちハゼを狙うことにしました。

生家が古くから江戸の海を相手に船宿をしていたこともあり、幼少から釣りに慣れ親しんできました。

江戸前とは、江戸前面の海を言い、かつては、自然の養殖場とまで言われ、魚介類が豊富に獲れ、今では埋立事業等で内湾沿岸部の形状も様変わりし、懐かし純江戸前の魚介類が減少したことは口惜しい。

しかし、江戸の食通によつて自慢され流行した江戸前料理が、食文化として広く

## 『シンユウ』

アルフィックス  
総務部長 井上 誠治



30年ぶりの高校のクラス会。1年生から部活も遊びも共に青春した「親友」と思っていた彼の再会は想定外の冷たくショックなものであった。

その代わり、1年生だけ同じクラスで、あまりプライベートな付き合いを感じてなかつたUが笑顔いっぱい私に接してきた。そして、別際に「井上の葬式には必ず行ってやるから」とうれしい言葉を送ってくれた。

Uとは今、「真友」の仲間になっている。時々、思い出したように気にかけて連絡をくれて、うれしい酒を飲み、気の合

## 浜ちゃんと島耕作

豊商事  
人事企画担当部長 青柳 人史



表題にあげた二人はいずれも長期連載が続く人気漫画の主人公である。映画にもなっているのをご存知の方が多いはずだ。

釣りバカ日誌でおなじみの浜ちゃんは建設会社勤務、仕事は常にマイペースで趣味の釣りを中心に人生が回っている万年平社員

の濱ちゃんは建設会社勤務、仕事は常にマイペースで趣味の釣りを中心に人生が回っている万年平社員。島耕作は一部上場電気メーカー勤務、出世競争の階段を順調に登っているハンサムで女性に好かれる。島耕作は、女性の方は諦める代わりに願わくば仕事だけは何か全うしたいというの、大それた願いというべきか。

今から浜ちゃんを目指すのもそれはそれで結構しんどそうだし、当面は漫画で二人のその後を見守るのみ。



## 鎧 橋 随 想

(順不同)

